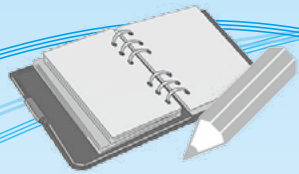


広報委員 放浪記



力持ち像と呼ばれる建築意匠

◆撮影場所 第三学区 余目八幡神社

余目八幡神社には、拝殿と張り出し部分をつなぐ梁の上に「建築力士像」といわれる像が鎮座しています。蝦虹梁鎮座型と呼ばれ正面向かって左右に2体ずつ鎮座しています。なぜ「力士像」と呼ばれ、屋根を支えているかといえば、相撲は神事であり、力士が屋根を支えることは土地を鎮めることを意味するだけでなく、それを模することで四神（青龍・朱雀・白虎・玄武）が建物を守っていると表現しているようです。平成4年には、庄内町指定有形文化財に指定されました。

参拝したときには、ぜひ見上げてみてはいかがでしょうか？



●取材／広報委員 ㊦

月のお山のお沢から、鳥海山を遥拝する

◆撮影場所 立谷沢地区(新田橋)

撮影日の5月5日の「こどもの日」は、新月からひと月が始まる旧暦では卯月(4月)の1日でした。卯月は「花と鳥の月」や、苗を植える「植月」ともいられています。この日の立谷沢でも鳥達が唄い舞い、芽吹いた樹々の様々な緑の中で咲く山桜が綺麗でした。それに田で働いている方々の息吹が相まって、絵に描いたような里山と暮らしの風景が広がっていました。そんな中、残雪に素手で触れながら冬を懐かしみ、春を慶んでいたのですが、次の日6日はなんととうとう立夏。季節の巡りを味わい、またそれに突き動かされ、新たな局面にも新鮮な心で、日々暮らしに向き合って行きたいと感じます。大地を踏みしめて。



“令和鳥 囀る声は子守歌 篁土中に 子ら抱きたり”

●取材／広報委員 ㊦

庄内町の文化財

円鏡

神社には多くの鏡がありますが、これは神霊を表現しご神体として残されているものです。これらの円鏡は、青銅製で直径10.6cm〜12.4cm、縁高0.6cm〜1.7cmあり、高縁少傾の和鏡で、宝前鏡として神社に奉納されたものです。鏡背の文様は、室町時代後期から江戸時代前期にかけて流行した海中に立つ岩山に仙人、松、鶴亀などを配して図案化した蓬萊文を継承する鑄出構成で、中央に亀鈕を着けた肥線二重圈をなし、それぞれに次の鑄出銘があります。

上段左「天下一吉次」その他「天下」

製作年代は、江戸時代前期と思われる「天下」の銘は、織田信長が工芸技術推奨のために、名工にその称号の使用を許したものとされています。その後、乱用されるようになり、天和2年(1682年)に徳川幕府は使用を禁止しました。

全て平成6年8月に町指定文化財に指定されました。



4/20-21 第32回楯山公園桜まつり



約200本のソメイヨシノが咲き誇った楯山公園は、満開の桜を見ようと、家族連れなど多くの来場者で賑わいました。

4/24-25 人権の花運動



余目第四小学校と余目第一小学校で行われ、2年生から、昨秋に自分たちで球根を植えて大事に育ててきたチューリップの鉢植えが1年生に手渡されました。

4/27 清川歴史公園オープン



庄内藩清川関所跡に川口番所や船見番所が復元された、歴史の里「清川」のまち歩き拠点施設のオープンを祝いました。

4/27-29 山形県縦断駅伝



鶴岡・田川チームで3人の本町出身選手が力走し、総合順位は、11チーム中3位と、第52回大会以来13年ぶりの3位入賞を果たしました。

5/3 子どもこいこいまつり



玉川第六砂防堰堤前広場にこいのぼりが飾られ、雪解けの水が勢よく流れる大迫力の堰堤から大空へ舞い上がる姿に、子どもたちは大歓声を上げていました。

5/3-5 としょかんこどもまつり



クイズや工作、おはなし会や昔ばなし語りの会、北月山荘周辺広場での移動図書館と、盛りだくさんのイベントに多くの家族連れが訪れました。